



開催中
～3/15(日)

Laura Prochowski
Alisha Redmond
作品展「THREES」



抽象風景画・油彩
画家である Laura さん、現代クラシック
作曲家、ピアニスト
である Alisha さんによる「自然の共鳴を
探る学際的なコラボ
レーション『LAND
MINDS』と名付け
られたプロジェクトは日本においても特

別な意味をもつ”3”という数字に着目し、構想されています。テーマや、色や曲など作品においても3つであることが意識され、初めての日本、初めての西会津町で、土地の風土を知り、地元との交流を通して制作されたものです。

西会津の冬景色の中で、あたたかく染み込む色と音楽を奏でています。

開催中
～3/22(日)

Kamran Samimi 個展
「記還
- RECOLLECTION -」



昨年5月に1か月間の滞在制作を行った Kamran Samimi による作品展。土や草を被って”忘れられていた”石や木に焦点を当て、それらと対話を重ねる中で生まれた作品たちです。

Kamran さんが一旦帰国し、芸術村を去った後も、芸術村に残された石や木の作品群は、まるでこの場所の新たな住人のように存在し続けていました。

再び来町して設営を行った作品は、木造のスペースに溶け込み、人工物の中に自然との共生を感じさせます。

石と木が織りなす銀河のような作品をぜひ、ご覧ください。



写真は富山県議会の皆様です。
境」を「最先端」に変えるヒン
トがあったと、芸術村の取り組
みをとても興味深くご覧いただ
きました。



視察報告

け入れています。今年度（4月～12月）は見学および視察に来館したのは30団体。

12月は、富山県議会、NEC、新郷いきいきクラブなどの皆様が芸術村にご来館いただき、展示の見学や取り組みの紹介、ワークショップを体験していただきました。

写真は富山県議会の皆様です。



西会津国際芸術村では、毎年
町内外から多くの団体視察を受
け入れています。今年度（4月～12月）は見学および視察に
来館したのは30団体。

12月は、富山県議会、NEC、新郷いきいきクラブなどの皆様が芸術村にご来館いただき、展示の見学や取り組みの紹介、ワークショップを体験していただきました。

写真は富山県議会の皆様です。

境」を「最先端」に変えるヒン
トがあったと、芸術村の取り組
みをとても興味深くご覧いただ
きました。

立春を迎えると暦のうえでは春！

身体も心も動かして、アートに触れてみませんか？

開催中

～3/19(木)

[出張展示]

フォトスタジオ

スズトヨ写真展

好評のため、秋に続き、冬の写真展も開催中です。
プロの写真が切り取る冬の情景、ぜひ見においでください。



会場 | にぎわい番所ぶらっと
(西会津町野口燃料)
時間 | 9:00-17:00 *土日祝は閉館
NIAV・Nishi-Aizu International Art Village
西会津国際芸術村

暮らしひの民謡を唄う

会津では、祝い事などで人が集まつた時に民謡を唄い合う習慣があります。一つの唄を違う唄い手、違う歌詞でリレーしたりして、宴席が盛り上がる様子が昔はよく見られました。嫁に来た女性たちを対象に婦人会で先生を招き、民謡を学ぶ機会もあったそうです。

暮らしの中に息づいてきた民謡をお話とともに聴き唄う、ゆるやかな会を開催します。お茶とおやつを楽しみながら歌い継がれてきた民謡を覚えてみませんか？聴くだけの方もOKです。

2/21 (土)
13:30～15:00

参加費：500円
(お茶/ケーキ付き)

定員：8名



全戸配布

2026
2月号

西会津国際芸術村
かわづばく

2月の休館日

定例休館日(月)(火)

2(月)、3(火)

9(月)、10(火)

16(月)、17(火)

24(火)

23(月・祝)は休まず
開館します。

開館時間：10:00-17:00

入館料：町民無料

*町外の方

大人300円 / 小人100円

未就学児は無料

12月26日、年末恒例の米ぬかを使った床みがきワーク

ショップが開催されました。

年末の恒例となっていますが、

元々は新郷中学校時代に米ぬかで床を磨いていた慣例にな

らったもの。やり方はとても簡単で、米ぬかをフライパン

で香ばしく乾煎りして、布に包み、タンポを作ります。

それを使って市販の米ぬかワックスと併用しながら、床を磨

いていきます。

今年も町内外から小中学生が参加してくれました。子ども達はワイワイと話しながら、あつと言う間に長い廊下を磨いていきます。大人もワイワイと話しながら、しかし、日頃の身体のなまりがたたってか、途中からスピードダウン。それでも無事に終えることができました。（後日、足腰が筋肉痛になつたことは内緒です。）



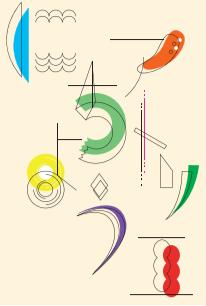
香ばしく炒った米ぬかを布で包みます。



長い廊下もみんなで作業すれば、早い！
おかげで今年もピカピカに。

開催報告

米ぬかで床みがき
ワークショップ



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

もちろん片付けはとっても簡単
本人も楽しく創作できたよう
に終ることができました。



使つて窓の飾りを作りました。

1月のアトリエではマスキングテープを
は紙でできているので、ガラスなどに貼ると光が透過してと
てもきれいです。

ということで、1月のアトリエではマスキングテープを

使つて窓の飾りを作りました。シールやテープを台紙に貼るという
のは手指の訓練にもなつて、小さなお子様には大事なことです。

もうすぐ2歳のちびちゃんも
チャレンジしてくれました。シールやテープを台紙に貼るという
のは手指の訓練にもなつて、小さなお子様には大事なことです。

1月のアトリエで使つた素材はマスキングテープ。色・柄
ともにたくさんの種類が、100円ショップでも揃えることができます。しかも、まわりを汚すことなく、手がベタベタになることなく、指で簡単にちぎれる。絵の具をマスキングテー

プに置き換えてみたら、小さな子でも簡単に遊びの可能性が広がるのではないかと思います。さらに、マスキングテープ

をしてもらえたならと親としては願うところです。

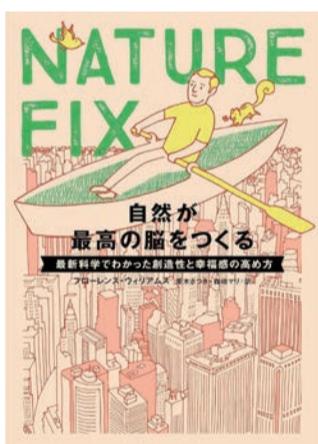
1月、子供たちには雪遊びで感覚を整えてほしいの
ですが、吹雪いていたり、
または雪がぐしょぐしょ
だつたりすると、躊躇して

します。そんな時に室内でできること、どうにか
ゲーム・デジタルに頼り切れ
らず（たまには頼ります！
仕方ない！）、楽しいこと

をしてもらえたならと親としては願うところです。



スタッフおすすめ 今月の本



この本は、「じぶんカフェ」
にて、お読みいただけます。

NATURE FIX

自然が最高の脳をつくる
最新科学でわかった創造性と幸福感の高め方

著: フローレンス・ウィリアムズ 発行: NHK 出版



美味しいものや季節のコトとかいろいろ ...

会津の歳取り魚といえば鮭。東の鮭、西のブリと言われるように北海道、東北、関東にかけては、大晦日に鮭を食べます。そして、神様にもお膳を用意します。頭から順番に、頭、エラ、最初の身の部分を「一の切れ」「二の切れ」「三の切れ」と呼び、神様のお膳につけます。

子供の頃は、お歳暮で送られてきた、まるごと一匹の新巻鮭が何匹も廊下に下がっていましたが、最近では切り身になったものをいたくか、買ってくるため、頭がなく、切り身だけになっています。時代を感じる光景でした。



インスワ日誌



花咲か爺さんプロジェクト/
いつも自然のこと、手わざのこと
を教えてくださっている、
もっちゃんこと、元次さんの庭に
咲いたあやめの種を芸術村で配布
中です。あやめの種は乾かして、
綺麗に鞘から出してあるので、お
好きなだけお持ち帰りください。

種のまきどきは、9月~11月だそうですが、寒さを避ければいつでも蒔いていいようです。種を蒔いてから、開花まで2年ほどかかる気の長い植物。楽しみが長く続きますよ。

[【HP】](#) [【Instagram】](#) [【Facebook】](#) [【YouTube】](#)



【お問い合わせ】tel: 0241-47-3200

mail: niav.public@gmail.com

〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752